



# 英語で論文を書きましょう！

JIP 編集長  
横田治夫  
東京工業大学

# なぜ英語で論文を



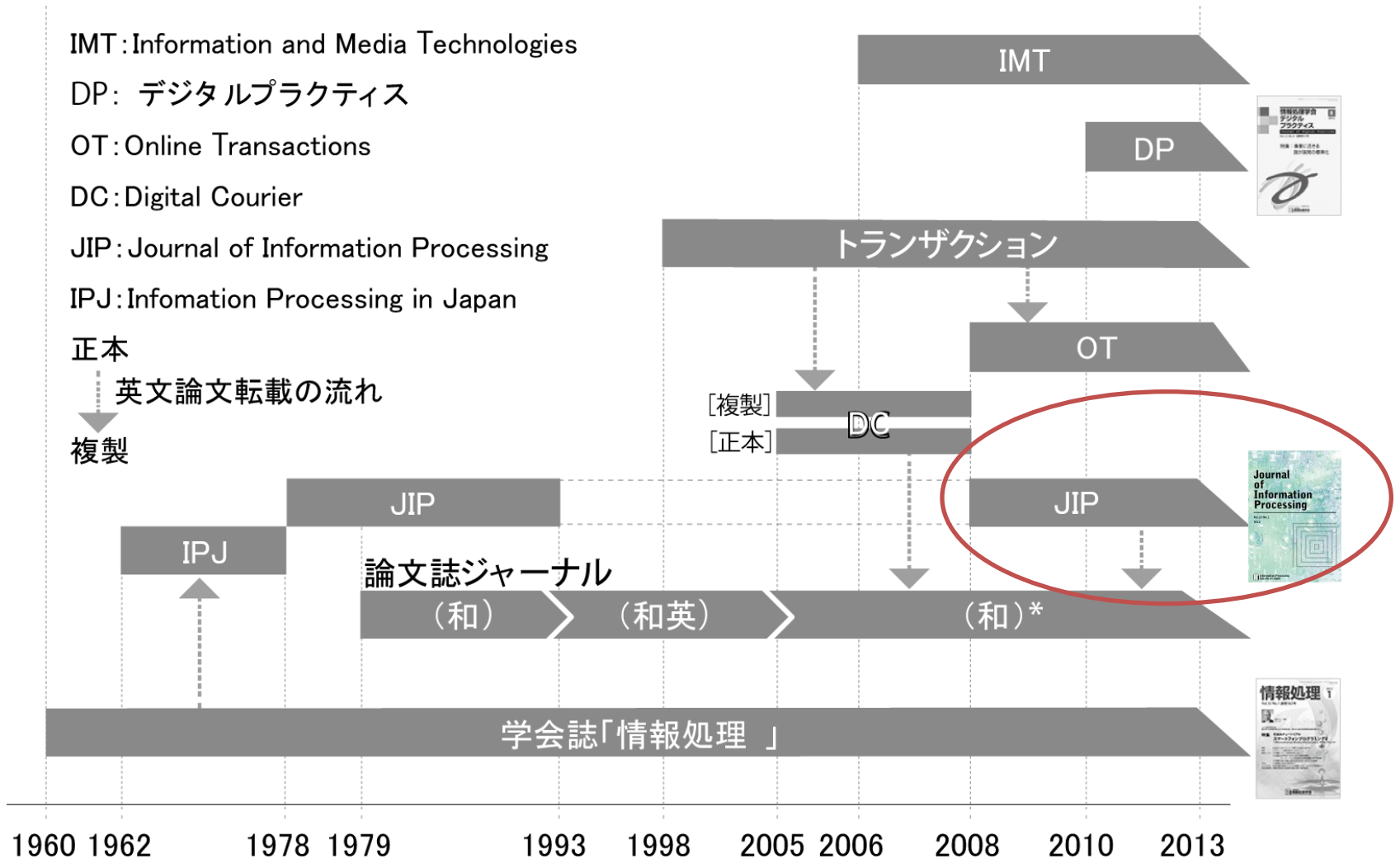
- 今やグローバルな時代
  - 日本語の発表だけでは世界から見えない
    - 日本で既にやっていたといっても通じない
  - 他の分野では論文誌は英語論文のみの分野も
- 日本の情報処理分野研究の積極的な発信
  - 情報処理分野における日本の地位向上
- 日本の学会のアクティビティを示す
  - 学会としての発言の有効性にも影響

# 情報処理学会の英文論文誌



- 名称
  - JIP: Journal of Information Processing
- J-STAGE から公開 (学会Webページからどうぞ)
  - <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjjip/>
- 和文論文誌 (情報学広場から公開) との関係
  - 和文論文誌にも Preprint が載ります
    - 特集号で同じ号に入れるため
    - **参考文献に挙げるときには和文誌でなく JIP の方を!**
- これまでの歴史
  - 紆余曲折

# 論文誌の変遷



\* 実際には英文論文も掲載されているが、それは JIP の複製なので(和)と記した。

# JIP 編集の仕組み



- 編集委員会
  - 基本は和文論文誌の編集委員会と一緒
    - 査読処理の流れも基本的に和文と一緒
  - 著名な海外の研究者もメンバー(次スライド)
- 特集号の英文論文も正規版として収録
  - 英文のみの特集号もあります
- 国際会議や研究会で発表した内容もOK
  - 著作権には注意が必要

# 海外編集委員



- Calton PU (Georgia Tech., USA)
- Rémi COULOM (U. of Lille 3, France)
- Xiaofang ZHOU (Queen's Land U., Australia)
- Winston SEAH (U. of Wellington, New Zealand)
- Jeffrey Xu YU (Chinese U. of Hong Kong)
- Kunsoo PARK (Seoul National U., Korea)
- Hee-Kap AHN (POSTECH, Korea)
- 他

# 英文論文を書くために

- 基本は英語で考えましょう
  - 日本語を翻訳するのではなく
- 英語は論理的な言語（日本語より）
  - 論文を書くには適している
  - 日本語であいまいに書いていた点を修正可能
    - 例：主語は何（日本語はかなりあいまい）
- 論理的展開を大切に、簡潔に
  - セクション、文、節、で何を書きたいのか
  - アブスト、イントロ、結論でポイントを3回
- スペルチェック、文法チェックは入念に
  - 三単現のSは当然
- JIP の採択率は？

# JIP に投稿するメリット



- 今なら掲載料が無料
  - キャンペーン中（2015年7月まで）
- 日本の文化を理解した査読が受けられます
- DBLP、SCOPUS（文献DB）に書誌情報が掲載
- インパクトファクタ取得を目指しています
  - なかなか大変
    - 参照されることが重要
  - JIP の論文を是非参考文献にあげましょう！
    - 皆さんの力で盛り上げてください